## 別記様式第8

## 鑑定評価書 (令和3年地価調査)

令和 3年 7月 6日提出 東京(林)-1 林地-1 林地-1

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	白鷺不動産鑑定		
東京(林)-1	東京都	多摩第 6	氏名	不動産鑑定士	中澤 信行	印

鑑定評価額	1,240,000 円	10 a 当たりの価格	78,400 円/10a
-------	-------------	-------------	--------------

## 1 基本的事項

-4.4 %

年間

(1)価格時点	令和 3年 7月 1日	(4)鑑定評価日	令和 3年 7月 2日	(6)	[令和 3年1月]	円/㎡
		. ,			路線価又は倍率	4.3 倍
(2)実地調査日	令和 3年 6月 15日	(5)価格の種類	正常価格		倍率種別	
(3)鑑定評価の条件	空評価の条件 当該土地に工作物又は立木等がなく、かつ、使用収益を制約する権利の存しないものとしての鑑定評価					

2 鐴	定評価額の決定	の理由の要旨					
(1)	所在及び地番 西多摩郡奥多摩町川野字大ざす540番1					地積 (㎡)	15,842
基準地	土地の利用の周辺の土地の利用					最寄集落	公法上の規制
地	現況	の現況	搬出地点まで の搬出方法	道路の状況 距離	及び距離	都計外 地森計 国立公(普通) (その他)	
	用材林地(杉、 噲、から松)	標高650m、約5度の北向き傾斜で、杉、檜、から 人工造林地域		4m町道	奥多摩 14km	峰谷 200m	土砂特警 
(2) 近	範囲	東 200 m、西 200	m、南 300 m、:	北 0 m			
近 隣 地	標準的規模等	規模 15,000 m	程度、形状 不整	形 方位・傾続	斜度 ( 北	) 向 35°	
域	地域的特性	宅地に近接する 特記 域である。	道	m町道	奥多摩馬 交通 西方14k		都計外 法令 地森計、土砂特警 国立公(普通)
		事項:	路		施設:		規制:
	地域要因の 将来予測	間伐、枝打ち等の行わ 、安価な取引も見られ	れている人工造林地 ており、地価は下落	域であり、現状の 傾向で推移するも	のまま推移してい ものと予測する。	くものと予測	する。山林素地の需要は弱く
(3) i	最有効使用の判定	現況の用材林地として	の利用		(4)対象基準	地のない	
` ' ' -	鑑定評価の手法 )適用	取引事例比較法	比準価格	C準価格 78,400 円/10a 個別		<b></b>	
	控除法 ————————————————————————————————————		控除後価格 / 円/10a 収益価格 / 円/10a		)a		
					)a		
(6)市	「場の特性	同一需給圏は、奥多摩 する団体や個人、公共 ており、林業や森林保 取引総額の価格帯の把	護を目的とした取引	が中心であるが、	安価な取引も見	られ、地価は	業事業体、森林保護を目的と 水源林の保全事業等が行われ 下落傾向である。用材林地の る。
l · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	は算価格の調整 なび鑑定評価額 )決定の理由	│ある。木材価格が依然	低水準であり、補助 も宅地化が困難で非	金無しでの採算研 現実的であり、値	雀保は困難である 両格が顕在化した	らため、収益価 いため採用し	証的かつ説得力のある価格で 格の採用は見送った。また、 ない。本件においては、比準 定した。
(8)	8) 秤量的検討が可能である できない						
公示価格	標準地番			域要   個別的     の比 要因の     比較	対象基準地 の規準価格 (円/㎡)	標 交通 標 全然	域自然要
格を規準	公示価格	_   <u>L</u>		00 [ ]	Ç. = 7	正 行政 その他	行政
(9) 対標 象準	対象基準			-般的 奥多 要 因 T ている	摩町は転入者の均る。東京都の原7	」」 曽加により、人 ト市場の木材価	口の減少幅は小さくなっ 格は低迷している。
対象基準地の前年標準価格からの検討	i i i i i i i i i i i i i i i i i i i	371778	円/10a  要   L 弱  因	也 域 別 特段の 要 因 別 は下落	の地域要因の変動 落傾向ある。	かはない。需要	の低迷により林地の地価
前 の  年 検 	2,2//	<u> </u>	O   _ f	固別的 個別的 要 因 ]	的要因に変動はな	Il I。	